

日時・場所	平成29年11月27日（月） 8時45分～ 庁議室
出席者	山仲市長、西村教育長、寺田政策調整部長、上田総務部長、田中市民部長、瀬川健康福祉部長、辻村健康福祉部政策監、小山都市建設部長、遠藤環境経済部長（代理：西村環境課長）、竹中教育部長、川端会計管理者、北協広報秘書課長、事務局（企画調整課）

## 1. 市長指示事項

- ・ 今週から市議会定例会が開会される。積極的で建設的な議論ができるような答弁、委員会となるよう、しっかりと準備をすること。
- ・ 昨日実施された住民投票は、最終的に投票率が50%に満たなかったため、不成立となり、開票されなかった。選挙管理委員会の委員の皆さん、市職員等、期日前投票から投票日当日まで選挙事務に携わっていただき、労をねぎらう。結果が出ていれば、市及び議会は結果を尊重することになるが、不成立となり、結果が出ていないので、結局、何もなかったことと同じである。本来であれば、これだけ多額のお金を使って、労力をかけて、様々な人が活動すれば、通常は何らかの成果が残るが、本制度の場合は何も残らない。そういう意味で、当初から、住民投票の実施にあたっては、その実施の請求に関する議員発議に対し再議を求めるなど、丁寧に進めないといけないと言ってきたが、不成立となり残念である。今後市民病院整備については、改めて市民にしっかりと説明をし、議会での審議を経て、政策決定をしていくという考え方で取り組んでいくことを認識しておくこと。なお、住民投票が不成立となったことについて、評論家や研究者のように、その意味を議論しても不毛であると考えている。

## 2. 報告事項

## ＜当日の追加報告＞

- ・ 11月20日（月）、市内の中学校において、教職員が職員室の机の引き出しに入れておいた現金入りの封筒が紛失していることが判明した。この封筒には、保護者に渡す予定の日本スポーツ振興センターからの災害共済給付金14,868円が入っていた。さらに、22日（水）には、同じ中学校において、別の教職員が職員室の机の引き出しに入れておいた現金入りの封筒が2つ紛失していることが分かった。一つは、災害共済給付金12,192円が入っており、もう一つは業者に支払う予定の文化体育後援会からの文化祭関係費9,280円が入っていた。これを受け、24日（金）に学校から警察に被害届を提出した。関係の保護者および業者には、今回の件について学校から事情を説明したうえで謝罪をした。  
普段は校長室の金庫に公金等を保管するようになっていたが、今回の件では職員室の机の引き出しに保管しており、鍵がかけられていない状態であった。教育委員会としては、学校での公金等の管理が不十分であったことを重大な問題と捉えており、本日臨時の市小中学校長会を開催し、学校での公金等の管理、事件等が起こった際の迅速な対応等について、今一度徹底を図るよう指導する。なお、本件については、本日午後には報道機関へ情報提供を行う。（教育委員会）

## 3. 協議事項

なし

## 4. その他伝達事項

- ・ 住民投票関連事務に協力いただき、御礼申し上げます。（総務部）

## 5. 次回部長会議の予定

12月4日（月） 8時45分～ 庁議室